

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	本部町ことばの教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年 4月 24日 ～ 2026年 5月 27日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 9名
○従業者評価実施期間	2026年 5月 1日 ～ 2026年 5月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じ建物内に、高齢者のデイサービスもあり、行事の際に交流することができる。季節の行事が多い。	デイサービスの利用者の皆さんと一緒に参加できる行事やイベントを計画し取り組んでいる。季節の行事には、保護者も参加できるようにし、積極的に声かけしている。	いろいろな行事、イベントを計画する。保護者の参加が増えるように工夫する。
2	公共の施設が近くにあるので、見学やイベントへ参加しやすい。遠足を計画したり、土曜日や長期休暇を利用し、町外の施設にも出かけ、いろいろな体験をしている。	町内の図書館や博物館を頻繁に利用する。町内外の児童が興味を持ちそうな施設やイベントの情報を集め、外出の計画を立てる。皆が参加できるように工夫している。	いろいろな施設やイベントの情報収集を行う。
3	自然に触れながらの活動を多く取り入れている（海遊びや生き物の飼育。野菜や草花の栽培など）。	事業所内で飼育できる生き物を一緒に育てたり、野菜などを一緒に育てる中で、児童が興味を持ったことを一緒に調べたりしている。生き物や植物を育てることで、責任感などの心の成長が期待できる。	安全面に配慮して海遊び等を計画する。生き物を大切にしていって体験を増やしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の同年代の子ども達との交流が少ない。	交流の場やイベントが少ない。	地域のイベントに誘われた時は、積極的に参加する。交流できるイベントなどについて、情報収集をする。
2	地域住民との交流が少ない。	地域の行事が日曜に開催されることが多い為、参加が難しいことがある。	事業所で、地域の皆さんと交流できる行事を計画したり、地域の方に一緒にできることはないか相談したりする。
3	STが常駐していない為、言語指導を希望する方へ十分な支援ができない。（月1回STが指導にくる）	人材不足。常勤としての採用が難しい。	STの指導回数を増やせるように調整する。STがいない日は、STからのアドバイスをもとに、経験者が指導にあたり、訓練を継続していく。研修や勉強会等で、職員の知識を高めていく。